

## 令和3年度第2回協議会における主な意見等について

委員意見等	方針・回答
<b>①令和3年度第1回協議会からの経過等について</b>	
<p>老朽空家解体費補助事業について、交付決定数と実績報告数で少し差があるが、交付決定したすべてが今年度中に終わるのか。</p>	<p>交付申請時に2月末までに実績報告を提出することを交付申請時に確認させていただいているため、取下げ申請等がない限りすべて完了する予定です。</p>
<p>空家バンク利活用費補助事業について、対象条件にエリアや築年数などの縛りを設けず運用しており、条件が良く普通に不動産業者の仲介で成約できるものが、バンク登録を経由すれば補助金も受けることができってしまう。成約が難しい物件にこそ予算を投下すべきであり、普通に成約できる案件に利用されることで、本当に必要な人が利用できなくなるのではと危惧している。これを見直す考えはあるか。</p>	<p>ご指摘のとおり、現在の規定では補助を受けなくても成約できるような物件も対象となります。登録後一定期間経過したものを条件としている自治体もあるようですが、現行よりも条件を厳しくすることで、行政として空き家の利活用に対しマイナスとなることをしていると捉えられてしまう可能性もありますので、現在のところ見直しは考えておりません。</p>
<b>②今後の主な取組予定等について</b>	
<p>空家等対策計画改定業務の委託先は、どのようなところか。また、委託料は前回レベルのものか。</p>	<p>委託先につきましては、コンサルタント業者となり入札により決定いたします。前回は、計画策定の前に実施した実態調査結果を分析し、一から計画を策定しましたが、今回は現行計画の改定となりますので、委託金額は前回よりも低くなる予定です。</p>

委員意見等	方針・回答
<p>老朽空家等解体費補助金について、毎年かなりの申請があり空き家対策の推進に繋がっていると思うが、この補助金を利用して解体した空き家が市内の空き家の何パーセントであるか数値として把握はしているか。また、制度開始から通算で200件ほど解体されており、かなり活発に実施していると思うが、今後もこのままのペースで実施していくのか若しくは、目標値があってそれを達成するまでなのか。</p>	<p>解体費補助金につきましては、令和3年12月末現在で累計240件を交付し空き家が解体されていることになり、空家バンクにつきましては31件が成約されておりますが、平成28年度の実態調査以降、増減した空き家数の全てを把握できていないため、補助金を利用した空き家の割合は不明です。</p> <p>今後の予定につきましては、補助金のニーズはこれからもあると考えておりますので、予算を確保して引き続き実施していきたいと考えております。</p>
<p><b>③意見交換・その他</b></p>	
<p>固定資産税の納税通知書への同封チラシの修正案について、紙面には載せきれない情報もあると思うので、さらに詳しい情報や日本語以外の案内というところも含め、QRコードがあるのも良いのではないか。</p>	<p>今回の修正では、文字を大きくするため最小限の情報で作成しました。良いご提案をいただきましたので、実施する方向で調整したいと考えております。</p>
<p>「このチラシは豊川市に固定資産をお持ちのすべての方にお送りしています。」とあるが、固定資産を持っていても納税する必要のない方へは通知はしないと聞いたが、厳密に言うとすべての方には送っているわけではなく、それを承知でやっているのか。</p>	<p>対象者宛ではなく、皆様に送らせていただいていますという意味で載せておりますが、修正をさせていただきます。</p>